

[1]産科データ

分娩数 536例  
 初産婦 260例、経産婦 276例  
 母年齢:平均 30.1歳( 17 ~ 41 )

年	分娩件数	新生児数	多胎件数	37週未満新生児		34週未満新生児		2500g未満新生児		2000g未満新生児	
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2009年	535	535	0	11	2.1	0	0.0	23	4.3	0	0.0

(38週6日分娩開始前のIUFDの1例を除く)

	出生週数(w)別出生数	
	数	率(%)
<35	0	0.0
35	1	0.2
36	10	1.9
37 ≦ <40	331	61.9
40	140	26.2
41	51	9.5
42 ≦	2	0.4
合計	535	100.0

平均 39.4 ± 1.1 (35週6日 ~ 42週1日)

	出生体重(g)別出生数	
	数	率(%)
<1500	0	0.0
1500 ≦ <2000	0	0.0
2000 ≦ <2200	2	0.4
2200 ≦ <2500	21	3.9
2500 ≦ <3800	498	93.1
3800 ≦ <4000	13	2.4
4000 ≦	1	0.2
合計	535	100.0

平均 3026 ± 337 ( 2140g ~ 4554g )

年	硬膜外麻酔分娩		帝王切開		吸引分娩		鉗子分娩		会陰切開		誘発・促進剤使用		医療介入	
	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2009年	0	0.0	56	10.5	78	14.6	0	0.0	114	21.3	120	22.4	233	43.6

選択帝王切開	37
緊急帝王切開	19
合計	56

帝王切開の適応	例数	%
既往帝切後妊娠	31	55.4
骨盤位	7	12.5
児頭骨盤不均衡	1	1.8
分娩停止	10	16.4
胎児胎盤機能不全	6	10.7
産婦過呼吸	1	1.5
合計	56	100.0

アプガー スコア	例数	
	1分	5分
0 ~ 1	0	0
2	2	0
3	2	0
4	5	0
5	2	0
6	6	2
7	10	6
8	80	11
9	421	431
10	7	85
合計	535	535

- ・ 誘発・促進剤使用の120例中、分娩誘発は30例。…選択帝王切開を除いた498例の分娩誘発率は 6.0%
- ・ 既往帝王切後妊娠、骨盤位の38例を除いた帝王切開率は18例、3.6% (=18/(535-38))  
その18例の分娩週数は、38週が2例(38週分娩の 1.5%)、39週が4例(39週分娩の 2.4%)、40週が4例(40週分娩の 2.9%)、41週が8例(41週分娩の 15.7%)
- ・ 41週分娩の51例中17例が誘発目的での入院で、その帝王切開率は6例、35.3%。自然入院の34例中2例が帝王切開で、その帝王切開率は 5.9%
- ・ 会陰切開は経膈分娩479例において  
初産婦 238例中102例( 42.9%)、経産婦 241例中8例( 5.0%)
- ・ 会陰切開も裂傷もなかった症例は  
初産婦 238例中31例( 13.0%)、経産婦 241例中80例(33.2%)
- ・ 児性別…男272例、女263例
- ・ 光線療法…54例( 10.1%)

2009年中の母体の高次医療機関への紹介・搬送例 … 70例

適応(疑い、既往含む)		例数
母体	切迫早産	31
	双胎	2
	妊娠高血圧症	6
	HELLP症候群	1
	常位胎盤早期剥離	2
	前置胎盤	1
	子宮頸管無力症	3
	分娩停止(C/S目的)	0
胎児	消化管異常疑い	4
	心奇形疑い	1
	肺奇形疑い	1
	単一臍帯動脈	1
	IUGR	3
合併症	腎炎	1
	卵巣腫瘍	3
	喘息	1
	椎間板ヘルニア	1
	精神疾患合併妊娠	2
	妊娠糖尿病	1
	血小板減少症	1
	子宮筋腫	1
	子宮頸部細胞診異常	3
合計	70	

## 〔2〕入院中栄養状況

年	新生児数	除外例		対象児数	人工乳追加		糖水追加		母乳のみ 数	完全母 乳率(%)	児を預かった母子	
		数	率(%)		数	率(%)	数	率(%)			数	率(%)
2009年	535	14	2.6	521	27	5.2	54	10.4	457	87.7	2	0.4

(母乳のみの内、搾母乳追加14例)

- 除外例内訳・・・新生児搬送9例、その他5例。

- 新生児搬送の内容

呼吸障害	3
心奇形・心雑音	2
高インスリン血性低血糖	1
18トリソミー	1
髄膜瘤	1
早発黄疸	1
合計	9

- その他の除外例

肥厚性幽門狭窄症	1
乳糖不耐症	1
母疾患で母乳中止	3

- 児紹介例（上記除外例、および退院後の紹介）の紹介理由

心雑音	29
紅斑	1
チアノーゼ	1
腹部腫瘤	1
海綿状血管腫	1
多のう胞性異形成腎疑い	1
ガラクトース血症疑い	1
クレチン症の疑い	4
外陰部色素沈着	1
呼吸障害	2
黄疸	1
先天性奇形疑い	1
指関節異常疑い	1
髄膜瘤、多指症	1
顔面神経麻痺	1
外尿道口のう胞	1
not doing well	1
合計	49

		退院時							
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ			
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)		
2009年	521	0	0.0	19	3.6	502	96.4	502名中15名に搾母乳追加	

		2週間健診時							
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ		データ無	
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	
2009年	521	2	0.4	44	8.5	473	91.1	2	データ無2例は未受診 473名中4名搾母乳追加

		1ヶ月健診時									
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		データ無	
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	
2009年	521	3	0.6	82	15.7	436	83.7	362	69.5	0	435名中1名搾母乳追加

分娩週数が37週未満、または出生体重が2500g未満の28例については、

		1ヶ月健診時								
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2009年	28	0	0.0	6	21.4	22	78.6	17	60.7	22名中0名搾母乳追加

帝王切開の52例については

		1ヶ月健診時								
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2009年	52	0	0.0	11	21.2	41	78.8	34	65.4	41名中0名搾母乳追加

分娩週数が37週未満、または出生体重が2500g未満、または帝王切開例を除いた444例については、

		1ヶ月健診時								
年	対象児数	人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2009年	444	3	0.7	65	14.6	376	84.7	313	70.5	375名中1名搾母乳追加

## 〔4〕体重減少増加率(体重の%は出生体重に対しての減少増加の割合)

2009年	最低体重日		退院日		2週間健診日		1ヶ月健診日		
	日齢	増減率(%)	日齢	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	増加量(g/日)
平均	2.7	-8.9	4.6	-6.2	12.7	3.8	31.7	31.9	41.8
標準偏差	1.0	2.7	0.8	3.5	2.2	8.0	3.0	14.7	12.3
最小	1	-18.1	3	-15.7	5	-21.1	22	-4.1	5.2
最大	8	-1.4	8	4.8	20	29.9	47	84.3	72.0

## 退院時から1ヶ月健診までの体重増加量(g/日)別例数

増加量	数	%	増加量	数	%
<10	3	0.6	35-	68	13.1
10-	4	0.8	40-	72	13.8
15-	17	3.3	45-	99	19.0
20-	25	4.8	50-	58	11.1
25-	46	8.8	55-	50	9.6
30-	56	10.7	60-	23	4.4
			計	521	